

「中国・アジア」ダイジェスト

2014.04.21-05.09

*記事は東京発行・最終版

CHINA

4月21日(月)

三菱日立PS、中国に統括会社
火力発電／重複業務を整理火力発電システムの新会社・三菱日立
パワーシステムズは、中国に地域統括会
社を6月設立する。グループ7社を束
ね、重複業務を減らし経営資源を再配分
する。北米にも統括機能。(1面)「北京モーターショー」開幕
中国専用車を投入「北京モーターショー」が開幕した。
日系メーカーの中国専用車や、現地で人
気のスポーツ多目的車(SUV)などが
披露された。中国メーカーも台頭、競争
は熾烈になっている。(1面)トヨタ、中国200万台
2017年／新型15車種投入トヨタ自動車は、中国で2017年末まで
に15車種の新型車を投入し、将来、現地
での販売台数(トヨタ・レクサス含む)
を200万台(2014年計画は110万台以上)
規模に拡大する。(7面)日産、EVを中国で生産
現地専用ブランド／基幹部品から現地化日産自動車は、中国で電気自動車を現
地生産する。現地専用ブランド「ヴェヌ
シア」のEV第1弾「e30」。EVを現地生
産するのは初めて。電池やモーターの基
幹部品から現地化。(7面)スズキ、中国でSUV
「iV-4」スズキは、中国で新開発の小型スボ
ーツ多目的車(SUV)を2015年に発売す
る。「iV-4」はSUVと続くSUVの戦略商品となる。北京モーターショーで、コンセプト車を公開。(7面)アイシン精機、中国3倍
売上高3000億円／欧米・現地系開拓アイシン精機は、2020年度に中国でグ
ループ全体の売上高を3倍の3000億円に→ 北京モーターショー
200万台を突破!
競争が熾烈に
中国は新車販売
21日間引き上げる。トヨタ自動車以外の欧米系
や現地資本メーカーに主力のボディー、
エンジン部品などを拡販する。(7面)東燃ゼネ、上海に拠点
電線被覆材向け開拓東燃ゼネラル石油の完全子会社・N
U Cは、上海に駐在員事務所を新設する。
電線被覆材向け製品で高い需要の伸びが
見込み、現地顧客との窓口に。現地ニ
ーズの把握や技術支援。(12面)4月22日(火)
GM、120億ドル投資
瀋陽など5工場新設米GMの中国現地法人は、2014年から
2017年の間に中国で120億ドルを投資する
計画。生産能力を65%引き上げる一環と
して、中国で5工場を新設する。武漢、重慶、
瀋陽などを予定。(時事=6面)「ジープ」中国で生産
フィアット・クライスラーフィアット・クライスラーは、中国で
提携している広州汽車集団とSUV「ジ
ープ」3種類を中国で生産開始する。中
国向けの独自仕様の生産も検討してい
る。(時事=6面)4月23日(水)
日中翻訳家を育成
中国の大学に授業／知財コーポなど中国の大学に授業／知財コーポなど
知財コーポレーションなど産業翻訳業
務を手がける4社は、技術資料などの翻
訳に関する人材教育に乗り出した。大連
外国语大学で「特許翻訳」の授業を提供。常熟経済技術開発区に進出
太平洋工業／製造子会社

太平洋工業は、中国での新設を公表し

て、直接式タイヤ空気圧監視システム
製造子会社の進出先を江蘇省常熟経済技
術開発区とし、稼働時期を2016年4月と
した。(5面)4月24日(木)
テスラ、中国で現地生産
北京・上海に充電施設米EV専業のテスラ・モーターズのマ
スクCEOは、「我々は3~4年で、中
国で現地生産できるだろう」と明らかに
した。北京と上海に充電施設をつくると
いう。上海紙が報じた。(時事=5面)4月25日(金)
商船三井、差し押さえ解除
中国側に供託金40億円商船三井は、1930年代の契約をめぐり
中国の上海海事法院から鉄鉱石運搬船を
差し押さえられていた問題で、供託金約
40億円を支払い、同船は浙江省の港を出
港した。(3面)4月26日(土)
浜井産業、研磨機360台受注
中国／スマホ向け浜井産業は、中国のガラス加工会社か
らスマートフォンのサファイア基板を磨4月28日(月)
ソーリツ、大型減速機輸入
中国ボーノンと代理店契約ソーリツは、中国の大型減速機メーカー
・ボーノンと日本における販売代理店
契約を結び、4月に受注活動を始めた。
年内にも技術者を3人採用し、アフター
サービスを始める。(9面)4月29日(火)
ダイハツ、中国から調達拡大
自動車部品／倍増60億円ダイハツ工業は、中国からの自動車部
品調達を金額ベースで2015年3月期に2
倍の60億円に拡大する。インドネシアに
輸出を本格化、日本へも増量。(5面)常熟経済技術開発区に進出
太平洋工業／製造子会社太平洋工業は、中国での新設を公表し
て、直接式タイヤ空気圧監視システム
製造子会社の進出先を江蘇省常熟経済技
術開発区とし、稼働時期を2016年4月と
した。(5面)4月30日(水)
P M 2.5対策など日中韓で協力
環境相会合／共同声明日中韓3カ国環境相会合は、微小粒子
状物質PM 2.5などの大気汚染問題をめぐ
り、各國が優れた防止事例や削減技術
の紹介などを通じて協力することを明記
した共同声明を採択した。(2面)電気化学が地域統括会社
中国・シンガポールに設立電気化学工業は、セメントの強度改善
などに使う特殊混和材の地域事業統括会
社を中国とシンガポールに設置し、営業
を始めた。中国上海市には電化創新(上
海)商貿を設立。(8面)5月1日(木)
浜井産業、研磨機360台受注
中国／スマホ向け浜井産業は、中国のガラス加工会社か
らスマートフォンのサファイア基板を磨く工作機械を約50億円で360台受注。
同社として過去最大の受注規模。装置の品
質と短期間に大量納入に評価。(1面)パワコン、中国などで増産
山洋電気／月400台山洋電気は、太陽光発電装置用パワー
コンディショナー生産を月産約2000台か
ら倍の同4000台に。小型モデルを中国の
協力工場で生産している。フィリピンで
も開始。中型は長野県。(6面)

5月2日(金)

日中韓で環境対策強化
大気汚染・生物多様性など9分野環境省は、中国・韓国と共同で2015年
から5年間に、大気環境改善や生物多
様性、気候変動対策など環境に関する9
分野で連携を強化する。9分野の共同行
動計画を採択する。(2面)三菱商事がLNG生産合弁
カナダ／シェル・中国・韓国企業三菱商事は、英蘭ロイヤル・ダッチ・
シェル、韓国ガス公社、中国石油天然氣
集団とカナダで進めるLNG生産・輸出
プロジェクトで合弁契約。操業会社を設
立した。年産1200万t。(3面)

次回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面の
次回は26日(月)に掲載します。

5月9日(金)

日揮、アオコ除去・水浄化技術
雲南省「てん池」／環境技術輸出弾み中国の湖の中でも汚染度が高い雲南
省「てん池」に、日揮のアオコ除去・水
浄化技術の採用が内定。10年間で約4900
億円の大口案件。日本から中国へ環境技
術の輸出に弾みがつきそうだ。(3面)

TEL OP

チノー、中国で放射温度計校正
7月インド／9月タイ(21日9面)コンテナ運搬船4隻を受注
常石造船(21日9面)キャデラック、年10万台
米G M(時事=22日6面)独ダイムラー、2ヶタ増へ
今年の中国販売(時事=22日6面)中国向け小型SUV
現代自(時事=22日6面)世界最高速エレベーターを納入
日立／広州超高层ビル(22日9面)上海吉祥航空、保有100機に
2020年めど(24日19面)

ひと

世界最速エレベーター

「2016年に中国の超高層複合ビルに納入した
ら、世界一速いエレベーターになる」と胸を張る
のは、日立製作所で都市開発システム社長を務める池村敏郎さん。
分速1200m。「駆動力が必要だが、振動や騒音を抑える技術もいる」と秘訣を語った。(28日=11面)「円・ルビア」通貨スワップ
国際協力銀行保証(1日13面)コニカミノルタ、バンコクに販社
複合機など(2日7面)筑波大、マレーシアなどに事務所
マレーシア工科大内(2日15面)佐藤商事、東アジア拠点を拡充
日系製造業が海外シフト(5日10面)植物遺伝資源の特性解明で共同
農業生研、東南ア3国(8日13面)インドネシアの大学で特別講座
愛知県立大(8日19面)シャープ、カンボジアに納入
太陽光発電／イオンモール(9日13面)萩原電気、バンコクに販社
電子部品(9日13面)

ひと

お求めやすい車をお届け

「軽自動車はプラットフォーム統合の典型だ」と、スズキ副社長の本田治さん。車台統合が進んでいるが、軽は先行して

いること説明する。軽の車台はインドや東南アジアの小型車にも展開しており「多くのお客様さまにお求めやすい車をお届けしている」と胸を張る。(21日=7面)

新興国の難しさ実感

「中国は政治、インドは州ごとの税法変化がある」と、4月に就任したクラリオン社長の川本英利さんは新興国の難しさを実感する。不安要素はあるが、成長の機会を果敢に狙う考えだ。「アクセラを踏むが、いつでもブレーキを踏めるようにしておく」。(22日=6面)

クルマ本来の走る楽しさ

「コペンの名称を継承しつつ、6月には新たな名前を付けたい」と、ダイハツ工業執行役員の上田亨さん。新型軽スボーツは「クルマ本来の走る楽しさを追求した」。軽自動車の技術はインドネシアで投入した小型車「アイラ」のように、海外展開できる。(24日=5面)

早い進出が奏功

「来年で20年になる」とタイ進出を語るのは、ナンヨー社長の南陽良幸さん。車部品製造の現地合弁会社「M.N.T.」は1994年の設立だ。段階的に増強し、月産能力2500t。「早い進出が奏功したが、まだまだこれから」と感慨に浸る間もなく、次の手を打つ。(1日=7面)

ASIA

4月21日(月)

パキスタンで「ワゴンR」
スズキ／1000cc現地仕様スズキは、パキスタンで軽自動車「ワ
ゴンR」を改良した小型乗用車を発売した。
ワゴンRの海外生産は、3カ国目。1000ccエンジ
ンを搭載するため、全長を伸ばして現地仕様にした。(7面)ナンヨー、タイに第2工場
大型鋳物部品／月産600tナンヨーは、タイで第2工場を6月に稼
働する。工作機械や産業機械、プレス
金型向けの部品など最大重量4.5tの大型
鋳物部品を生産できる。当初の月産能
力は600t。(9面)

4月22日(火)

ルネサス、インドに販社

2輪車向け半導体製品
ルネサスエレクトロニクスは、インドに同社にとって初となる販売会社を設立した。2輪車向け半導体製品を重点分野に設定。産業機器、民生機器向けのソリューション製品も開発。(9面)神鋼、印F L Sに技術供与
鉄鉱石の事前処理

神戸製鋼所は、インドのエンジニアリング会社FLSとの間で神鋼の持つ鉄鉱石の事前処理技術「コベルコベレタイングシステム」に関するライセンス契約を結んだ。(17面)

信越化学、レアアース磁石工場
ベトナム／年産1000t信越化学工業は、ベトナムにレアアース
磁石の製造拠点を2015年9月に稼働す
る。年産能力は1000t。工場を追加新設して
同2000tに引き上げる。HVなどの
世界的な需要拡大に応える。(18面)電気化学、台湾に現法
スマホ用接着剤／L E D用蛍光体電気化学工業は、台湾・台北市に現地
法人「台湾電科」を設立した。スマート
フォン部品加工用の接着剤やL E D用
蛍光体をアジアで拡販。台湾で現地生産も
検討。(18面)

4月23日(水)

カシオ、タイ生産拠点を拡張

電卓・電子辞書／合計月110万個
カシオ計算機は、タイの生産拠点を拡
張して6月から稼働を始める。中国で生
産している電卓と電子辞書の生産を一部
移管する。2品種の合計で最大月産110
万個。(8面)三菱商事、ミャンマーで昇降機
現地大手財閥と合弁三菱商事は、ミャンマーでエレベーター
とエスカレーター関連事業に参画する。
現地大手財閥・S P Aグループと、
三菱電機昇降機の販売や据え付け、保
守の合弁会社を設立する。(11面)味の素、インドネシアで香料品
化粧品・シャンプー向け